

豚産肉能力検定による種雄豚の選抜							
<p>〔要約〕 <u>デュロック種</u>、<u>ランドレース種</u>、<u>大ヨークシャー種</u>の3品種について産肉能力検定を実施したところ、合格率は92.7%と高く、その内、デュロック種は42頭、ランドレース種は7頭、大ヨークシャー種は2頭を種雄豚として選抜した。</p>							
畜産研究所・中小家畜部・養豚研究室					連絡先	092-922-4100	
部会名	畜産	専門	育種	対象	家畜類	分類	行政

〔背景・ねらい〕

本県の種豚の改良を促進するため、県内の指定種豚場から生産されたデュロック種、ランドレース種、大ヨークシャー種の3品種について、豚産肉能力併用検定（検定豚：雄1頭、調査豚：検定豚と同腹の去勢と雌の各1頭）を実施し、産肉能力の高い種雄豚の選抜を行う。

〔成果の内容・特徴〕

①デュロック種では、検定豚の1日増体量は816g、ロース断面積は37cm²で、特に1日増体量は高い能力を示している（表1）。また検定した44頭中42頭が合格し、95.5%の高い合格率である（表2）。

②ランドレース種では、検定豚の1日増体量は794g、ロース断面積は34cm²で、両形質とも優れている（表1）。また検定した8頭中7頭が合格し、合格率は87.5%である（表2）。

③大ヨークシャー種では、検定豚の1日増体量は828g、ロース断面積は42.7cm²で、両形質とも優れている（表1）。

〔成果の活用面・留意点〕

検定成績は指定種豚場の種豚の交配、選抜の行政指導資料にする。また検定合格豚は県内の養豚農家で利用することにより、産肉形質の改善や肉質の向上が期待できる。

[具体的データ]

表1 産肉能力併用検定の成績

(平成2～4年)

項 目	デュロック	ランドレース	大ヨークシャー
検定頭数	42	7	3
検定豚 1日増体量(g)	816±89	794±70	828±161
U-ス断面積(cm ²)	37.0±3.4	34.0±2.7	42.7±5.4
背脂肪厚(cm)	1.8±0.4	2.0±0.5	1.5±0.3
調査豚 1日増体量(g)	754±96	732±48	567±65
背腰長 II (cm)	67.3±1.8	71.3±1.2	69.2±2.2
U-ス断面積(cm ²)	23.9±3.0	19.8±1.7	23.5±1.6
ハム割合(%)	31.7±0.7	31.2±0.6	30.3±0.8
背脂肪厚(cm)	2.5±0.3	2.8±0.3	2.6±0.2

- 注) ①U-ス断面積は、検定豚：体長の1/2部位、調査豚：4-5胸椎間
 ②背脂肪厚は、検定豚：体長の1/2部位、調査豚：3部位の平均値
 ③背腰長 II は、最後腰椎から第1胸椎までの長さ
 ④ハム割合は、ハム重量が半丸枝肉に占める割合

表2 検定豚の総合判定の内訳

		デュロック	ランドレース	大ヨークシャー	計	割合
Aランク	合	8頭	0頭	0頭	8頭	14.5%
Bランク		28	5	2	35	63.7
Cランク	格	6	2	0	8	14.5
Dランク	不	0	0	1	1	1.8
Eランク	合	0	0	0	0	0.0
中止	格	2	1	0	3	5.5
計		44頭	8頭	3頭	55頭	100.0%

- 注) ①検定豚の総合判定は検定豚自身と兄弟の調査豚成績を判定基準に照らし、相対重要度、調整係数を掛けて合計した得点である。
 ②Aランク:50点～42点 Bランク:42点未満～34点 Cランク:34点未満～26点 Dランク:26点未満～18点 Eランク:18点未満～10点

[その他]

研究課題名：豚産肉能力併用検定

予算区分：経常

研究期間：平成4年度(平成2～4年)

研究担当者：佐藤充徳、投野和彦、大和碩哉

発表論文等：平成4年度畜産関係試験成績書